

おおま

No. 86
岬の光

平成27年7月1日発行

議会だより



海上安全地藏尊大祭 6月23日～24日 (海難遭難者供養・魚貝・海藻類精進供養)

6月定例議会
主な内容

○新議長あいさつ・議会組織

P 2

○平成27年 第2回定例会

P 3

○2議員が一般質問

P 4～5

○報告(要望活動)・編集後記

P 6

新議長

あいさつ



石戸 秀雄
議長

4月30日開催の議

会臨時会において、

議員皆様のご推挙を

いただき、第24代議

長の要職に就任いた

しました。

議長3期目を迎え

るにあたり、職責の

重大さを痛感し、身

の引き締まる思いで

おります。長きにわ

たる議員生活と、議

長経験を生かし、議

員各位はじめ町民皆

様方のご支援とご協

力をいただきながら

町政発展と円滑な議

会運営のため努力い

たしますのでよろし

くお願いいたします。

本町におきまして

も、東日本大震災、

福島第一原発事故か

ら中断したままの、

大間原発の本格工事

再開や国道避難道

等、多くの課題が山

積しております。議

会は、より一層努力

を重ね、執行機関と

の議論で、有効な政

策を推進するなど、

議員全員が積極的

課題解決に果たす役

割を担うことで、皆

様の負託に応え、安

心安全な暮らしを営

む環境づくりに努め

て参ります。

大間町はこれから

コンブ漁・イカ漁・

マグロ漁が最盛期を

迎えます。操業にあ

たっては安全に充分

気をつけてください。

親の働く姿は子ども

達にとって最高の教

育になります。未来

を担う子どもは大間

町の宝です、大事に

育てましょう。

町民皆様方には、

議会へのご理解と町

政に対するご支援ご

協力を、心よりお願

い申し上げます、就任の

ご挨拶とさせていただきます。

でございます。

議会組織

- 議長 石戸 秀雄
- 副議長 宮野 昭一
- 事務局長 松原 俊逸
- 主幹 笹谷 妙子

- 大間原子力発電所対
- 策特別委員会

- 議会選出
- 大間町監査委員
- 岩泉 盛利

各委員会

◎委員長○副委員長

- ◎ 加藤 正喜
- 千代谷 誠

- 正根 秋雄
- 佐々木信彦
- 野崎 信行
- 竹内 弘

公共施設配置計画策
定・建設特別委員会

- ◎ 岩泉 盛利
- 竹内 勝雄
- 正根 秋雄
- 加藤 正喜
- 佐々木信彦
- 野崎 信行
- 千代谷 誠
- 竹内 弘
- 宮野 昭一
- 石戸 秀雄

国保運営協議会

- 加藤 正喜
- 宮野 昭一

議会広報編集委員会

- ◎ 加藤 正喜
- 佐々木信彦
- 竹内 勝雄
- 千代谷 誠
- 竹内 弘
- 宮野 昭一
- 石戸 秀雄

産業民生常任委員会

- ◎ 竹内 弘
- 正根 秋雄
- 加藤 正喜
- 岩泉 盛利
- 宮野 昭一

第2回 6月定例会

平成27年第2回定例会を6月5日開会し、6月9日閉会しました。

本会議に提案された承認3件、議案9件はすべて原案のとおり承認、可決しました。

平成27年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ857万円を追加し、予算総額を41億735万円とした。

歳入の主なるもの

国庫支出金

- 低所得者保険料軽減負担金106万円。
- 番号法補助金総務省分及び厚生労働省分合わせて1170万円。
- 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金134万円。
- 道路橋梁費国庫補助金2028万円の減額。
- 漁港施設機能強化事業補助金823万円。

町債

○過疎対策事業債で起債対象事業の精査により500万円。

歳出の主なるもの

総務費

- 番号法に係る住民情報システムのプログラムカスタマイズ委託料2046万円。
- LED照明導入調査業務委託料135万円。

民生費

- 介護保険特別会計繰出金212万円。
- 臨時福祉給付金改修委託料128万円。

土木費

- 橋梁維持補修工事1890万円の減。
- 大間港漁船ポンプ用電源設置工事650万円。
- 港湾改修事業負担金1300万円の減。

- 港湾浚渫事業負担金250万円。

- 下水道事業特別会計繰出金147万円を減額。

介護保険特別会計

歳入の組替予算であり、介護保険料212万円を減額し、一般会計繰入金212万円を計上。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ147万円を減額し、予算総額を2億6496万円とした。

水道事業会計

収益的支出の補正であり、営業費用で4万円を減額、特別損失で1万円を追加し、収益的支出の総額を1億6157万円とした。

町道路線の認定

- 奥戸向町防災公園線
- 起点
- 奥戸字小奥戸2番40
- 終点
- 奥戸字二ツ石179番25

専決処分 承認3件

- 一、半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

- 一、過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

陳情

一、町税条例等の一部改正

○労働基準法及び労働者派遣法の「改正」に反対する意見書の提出

※産業民生常任委員会の継続審議

○TPP交渉に関する意見書の提出

※採択

○米価暴落対策を求める意見書の提出

※採択

一般質問



正根 秋雄 議員

『のびのび・生き生き・悠悠』 暮らせる町を実現するためになを 進めるのか

質問

どのような町を想定しているのか、わかりやすく説明してほしい。

のびのびとは、子供たちが、のびのび育つ環境づくりのことです。

ハード面では、下手浜保育所・奥戸保育所の老朽化等に伴い、うみの子保育園を建設。奥戸小学校の改修、大間小・中学校のグラウンド整備。

ソフト面では、町単

独で臨時講師の採用。幼稚園・保育園に臨時保育士等を配置。子供については、中学校まで医療費の無料化、ワクチン接種の無料化等を実施。

生き生きについては、生産年齢に達した人が自分の仕事に誇りを持ち、この地域で生き生きと生産活動が行えるようにという思いを込めています。漁港・港

湾の整備等、道路整備

等も含め計画に基づき行っています。ナマコの種苗、奥戸いもっこはイオンと共同で進めており、若手の畜産農家の育成にも取り組んでいるところ です。

悠悠については、現役世代を引退した方でも、悠悠自適の生活をしていたきたいという思いを込めています。さらに健康づくりに力を入れます。

再質問

町長就任から10年になるが、理想の町づくりの達成率は。

町長答弁

イメージであり判断は難しいが、概ね70、80%と思います。

再質問

100%に仕上げた気持ちはあるのか。

町長答弁

100%に近い形で

進めていきたい。

再質問

ウイングを、町民や子供たちが喜ぶスポーツジムの施設に直すことができないか。

町長答弁

子供たちのことを考えながら事業を展開してきましたが、今後もうイングと相談していきます。

大間原子力発電所計画の今後の展望は

質問

具体的にどのように進めていくのか。

町長答弁

規制委員会の審査状況を見ながら今後、順調に進むことを前提に、道路整備の促進に努めます。

再質問

もう少し原発を利用した町づくりをしては。

町長答弁

生活基盤をつくりあげていくことが大事であり、農林漁業・地域商工観光を含めた活性化を図り、さらに力を注ぎたい。

大函丸を利用した町づくりは

質問

観光客誘致に向けて、具体的な進め方と町長の所見は。

町長答弁

昨年度でいくと、札幌・函館の旅行業者に對するPR及び放送局を利用したPR、タブロイド版のPR誌の発行、台湾の旅行業者5社にPR、今後は北海道新幹線の函館終着に伴い青森県函館デスネンションキャンペーンに向けてのPR活動等を実施しますが、ここでは、報道・旅行エー

ジェント等を含めた現地視察が行われるため、私達が本気で観光に取り組むという意識を事業者に見ていただくことが非常に大事と感じており、それに向けた努力をしたい。

再質問

10年後のフェリーを町民は心配しているが、聞き取り調査などしているのか。

町長答弁

利用者を対象とした調査は、今後の課題としたい。

再質問

町・議会・フェリー会社との三者会談は必要と思うが。

町長答弁

情報交換会的なものは検討したい。

一般質問



野 崎 信 行 議員

1 子ども議会を開催して意見を聞いては

町長答弁

議会・教育委員会等と協議します。

2 道路用地買収課を

設置すべき

町長答弁

現体制で対応します。

3 ミズダコ産卵礁を

作成すべき

町長答弁

今後の検討課題とします。

4 地域おこし協力隊

を町でも活用すべき

町長答弁

3月定例会でも答弁

したところですが、今後の検討課題とします。

5 地域密着型老人保健施設を建設すべき

町長答弁

新しく策定した大間新介護保険計画では、

地域密着型特別養護老人ホームの建設が可能

となっており、事業者

の参入があれば進めて

いけるものと思います。

6 大間町役場基本計

画入札の情報公開を

町長答弁

議会と協議した上で、明らかにします。

7 街路灯はマグロデ

ザインで

町長答弁

浜町中心街の計画に

あり、財源が確保され

整備できる段階で進めていけると思います。

8 下北半島縦貫道路

の起点は函館・大間

から

町長答弁

議会も共に要望行動

をしているところだ

ので、ご理解いただき

たい。

9 移住計画の策定は

したのか

町長答弁

原子力災害等があっ

た場合の受け入れ体制

として答弁しますが、

今後、県と並行しなが

ら、町として進めてい

くことになっています。

10 佐井 わかめ

オーナーを大間でも

町長答弁

漁協が実施している

と承知しています。産

業団体としての考え方

を聞きながら、漁協と

の協議を進めていけれ

ばと思います。

11 柿崎造船所急傾斜

事業を行うべき

町長答弁

当該区域は私有地で

あり、急傾斜地指定区

域外のため困難と考え

ます。

12 町内会ゴミ箱の設

置を町がやるべき

町長答弁

現在、各町内会に設

置していただいておりますが、今後の課題と

します。

13 ヨネザワガソリン

スタンド前の道路に

ガタガタラインを入

れるべき

町長答弁

交通事故多発地区の

対策として、県に今協

議しているところです。

14 ハローワークを設

置すべき

町長答弁

国の判断によるもの

と解釈します。

15 有料広告の大間町

広報を作成しては

町長答弁

今後の検討課題とし

ます。

16 住んでみたい町づ

くり課の設置を

町長答弁

課を増やしても、職

員が増えるわけではな

いので、現状で対応し

ていきます。

17 函館市との交流は

町長答弁

観光・教育・文化・

産業も含めた交流は、

以前に増して密になっ

てきています。

18 一人暮らし住民に

ブザーを

町長答弁

現在、社会福祉協

会が貸し付けを実施し

ており、今後も協議し

ていきます。

19 マッサージチェ

アーを購入すべき

町長答弁

くろまつに伝え、協

議していきます。

20 道の駅を建設すべ

き

町長答弁

しっかり検証しなが

ら検討していきます。

21 教育委員会に子ど

もの悩みを聞くテレ

ホンサービスの開設

を

教育長答弁

いじめ基本方針を策

定し各学校全体で取り

組んでいるところであ

り、一人一人の子ども

たちと教育相談を行い

対応しています。ま

た、昨年度からスクー

ルカウンセラーとの面

談を通して心のケアに

も努めており、県教育

委員会では24時間体制

で「いじめ相談24」と

いうことで子どもたち

の相談に対応していま

す。教育委員会として

は、今の体制を維持し

ながら気軽に相談でき

る体制をとり、引き続

き実施していきます。

22 大間崎に観光自転

車を設置すべき

町長答弁

検討します。

※全53質問中、22質問

を抽出して掲載。

要望活動報告

(6月22日～24日)



議長公邸にて

6月23日、大間原子力発電所の推進要望書を携え、午前9時30分から経済産業省資源エネルギー庁、電力・ガス事業部多田明弘部長以下2名と会談、要望。

部長談話

建設中の大間原発は、プルサーマル計画の重要施設として、国の考え方に変化はありません。原子力規制委員会の審査に合格し、建設が終了したならば、速やかに稼働させます。

その後、議員会館で県選出の衆議院議員江渡聡徳、津島 淳、升田世喜男、参議院議員滝沢 求、赤沢清美各氏には要望書を直接手渡すことができたが、木村太郎衆議院議員、



電力・ガス事業部長への要望

山崎 力参議院議員の両氏は残念ながら不在で、秘書に託しました。

また、宮沢洋一経済産業大臣にも要望書を託すことができ、要望の1日目を終えました。最終日、県選出の国会議員としては初の衆議院議長に就任した大島理森氏を議長公邸に訪問し、議長就任のお祝いと、大間原子力発

電所の推進を強力にお願いすることができました。

最後に、国権の権威を象徴する国会議事堂の内部は歴史を感じさせる重厚さと、威厳に満ち溢れていました。また、日本の美を凝縮したつくりの議長公邸をみることができ、有意義な要望となりました。(記) 加藤

編集後記

去る4月26日の投票日に、新たな議員10名が選ばれました。

皆さんが投票された議員の方々の、議会等での活躍に関心ありませんか!!

定例議会は年4回開かれます。議会を傍聴し議員活動を住民の皆さんで関心を持っていただきたいと思います。

大間町議会の傍聴者数は、青森県内で一番少ないとの事です。

私も議員は住民の代表であり、住民が少しでも安心安全で暮らせる町づくりに励んで参ります。(記) 竹内

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

佐々木 信彦

委員

竹内 勝雄

千代谷 誠

竹内 弘

宮野 昭一